

古来「変身」は、強く切実な願望のひとつである。現代においても人々は、矯正や整形、臓器移植等の身体の変形はもとより自己啓発・性格改善といった精神の変化をも求めて倦まない。

一方、私たちは、PCや携帯電話を日々操りながら、ときに自身を端末になぞらえ（インストールやスベック、エミュレーション…）、世界を理解する現実感覚、身体感覚に浸かっている。

そしてこの数年、世を騒がせつづけるグーグルをはじめとした情報技術。電子ネットワークを介して、世界のあらゆる事物を変換・共有可能なデータにしようとする欲望と、それを可能にする環境は整っている。

その先に、生体認証と医療技術、ネットワーク技術が合わさることで「身体データベース」が、ブログやSNSによりライフログを緻密に集積した「人生データベース」が共有される未来を想像してみる。端末にアプリケーションをインストールするように、独自規格である「この私」を変換し、より優良な人体パーツと経験を検索してかき集め、自らに組み込む。何が変形可能で、どこまでが固有のものなのか？

そのとき私たちは、現実と虚構という対立を塗りかえる「変身」に出会うのかもしれない。







亦友亦敌

短篇
競作